

摘 録

会議の名称	第 1 回大牟田市男女共同参画審議会
開催日時	令和 8 年 7 月 23 日（木） 10：00～11：30
開催場所	大牟田市役所 北別館 4 階 第 2 会議室
出席者	（委員） 出席 8 名 欠席 2 名 （事務局） 4 名
会議次第	1 議題 第4次おおむた男女共同参画プラン推進状況（令和7年度）について 2 報告 男女共同参画に関する市民意識調査等の実施について 3 その他
配布資料	1 第 1 回大牟田市男女共同参画審議会 次第 2 第 4 次おおむた男女共同参画プランの推進状況（令和 7 年度）（案） （資料 1-1） 3 第 4 次おおむた男女共同参画プランの推進状況 審議会委員評価・コメント及び各課の回答（資料 1-2） 4 プラン達成のための指標の推進状況【令和 7 年度】（資料 1-3） 5 大牟田市における政策・方針決定の場への女性の参画状況（資料 2） 6 男女共同参画に関する市民意識調査等の実施について（資料 3）
公開・非公開	公開
傍聴者	4 名（傍聴者 2 名、記者 2 名）

議事等の内容（委員の質問、意見及び事務局説明の要旨のみ記述）

1 議題

「第 4 次おおむた男女共同参画プラン推進状況（令和 7 年度）について」
（資料 1-1～1-3、資料 2）

事務局（資料 1-2 に沿って説明）

会長 項目No.12「市における男性職員の子育て目的の休暇等の取得促進」と項目No.19「地域団体等における各種研修を通じた女性の人材育成及び活用」について、コメントがあり、評価は空欄となっている。

項目No.12「市における男性職員の子育て目的の休暇等の取得促進」について、皆さん、ご意見を。

委員 特になし。

会長 特になければ、審議会評価も「b」でよろしいか。

委員 はい。

会長 項目No.19「地域団体等における各種研修を通じた女性の人材育成及び活用」についてはいかがか。

委員 内閣府 HP の「見える化マップ」とあるが、その数値は市が報告しているのではないのか。

事務局 市から報告している数値だが、国が取りまとめる関係上、データとして公表するまでに一定の時間を要することとなる。自治会長に占める女性の割合は、資料 2 の 2 ページに掲載しており、令和 7.4.1 現在 19.5%、令和 8.4.1 現在 20.1%と 0.6 ポイント増加している。

この推進項目の取組概要に対して、必ずしも県内順位の記載が必要ではないことから、次年度からは本市の加入率を記載するなど、記載内容を検討するよう担当課に伝える。

会長 項目No.19 についても審議会評価は「b」でよろしいか。

委員 はい。

会長 項目No.48「女性消防団員の確保」について、所管課の自己評価「b」に対して、委員の評価は「a」ではないかというコメントがあった。
皆さんのご意見を。

委員 女性分団として独立され頑張っている。女性消防団員数も目標値の 5%以上を上回る 6.2%であることから「a」と評価した。

委員 女性分団では、図書館などで防災に関する絵本の読み聞かせなども行っている。また、先月開催されたポンプ操法大会では指揮者をされた女性がおられ、女性も活躍されている。

会長 推進項目は、女性消防団員の確保となっているが、確保できればよいのか。

事務局 取組概要としては、団員の確保のほか、団員の幅広い分野での活躍を担うとなっている。担当課としては、火災予防活動のみならず、応急手当講習等での活動も期待されていることから「b」評価にされたと思われる。

会長 では、担当課評価のまま「b」とするか。

委員 実績もあり「a」評価としたい。

会長 「a」でよろしいか。

委員 はい。

会長 では「a」評価とする。担当課回答に記載されている研修等については検討を進められ、今後も質の向上に努めていただきたい。

項目No.54「男女共同参画の周知・啓発の促進」については、所管課の自己評価と変わらないが、コメントがあった。項目No.56「家庭教育支援講座の実施」については、コメントがあり、評価は空欄となっている。

項目No.54「男女共同参画の周知・啓発の促進」について、皆様のご意見を。

委員 男性の家事・育児への参画について講演会が行われている。男性に向けた内容であったが、男性の参加が少なかった。もっと多くの男性に聞いてもらいたかった。

事務局 周知は、市各施設へのポスター、チラシ配架や広報、市HP、SNS等での情報発信を行っている。少しでも関心がある方の目には留まるが、そうでない方にはなかなか情報が届かない、響かない部分もあり、大きな課題として認識している。

委員 昨年12月に福岡県知事と話す機会があり、各県のトップが「妊婦体験」や「生理痛疑似体験」をされたそう。服部知事も「とも家事」というYouTubeに出られている。各県のトップが頑張っているから、会場のトップも講演会に参加いただいて会社で啓発して欲しい。

会長 今後も、効果的な周知方法を検討いただきたい。審議会評価は「a」でよろしいか。

委員 はい。

会長 項目№56「家庭教育支援講座の実施」について、コメントがあり、評価は空欄となっている。皆さんのご意見を。

委員 講座の開催日は平日、休日いずれでの開催が多いのか。

事務局 親子（乳幼児）向けであれば平日昼間の開催であったり、講座の内容（参加者層）によっては週末開催の講座もある。

委員 男性の参加が少ないので、男性も参加できるような講座、開催日時の工夫を期待したい。

会長 評価については「a」でよろしいか。

委員 はい。

会長 これで、資料 1-2 に掲載しているこの審議会で審議する 4 項目は、評価を確認した。

資料 1-1 になるが、審議会の評価対象項目の残り 35 項目については、先に郵送で提示された内容と同じなので、一括して委員の皆さんに確認を取りたいと思う。

委員の皆さんからの特段の評価・意見がでていない項目については、この評価でいきたいと思うが、あらためて全体を通して、委員の皆さんからご質問・ご意見等はないか。

委員 特になし。

会長 他になれば、残り 35 項目については、当初の評価どおりとし、男女共同参画プラン推進状況（令和 7 年度）の評価を終了する。

事務局 （資料 1-3 に沿って説明）

会長 人材リストについて、登録申請書の変更を検討するということだったが、どのようになったか。

事務局 令和 7 年 12 月に登録申請書や募集チラシを変更した。

委員 昨年の審議会で登録者の年齢層が高いと聞いたが、現在も変わらないか。

事務局 30代から70代と幅広い世代で登録していただいているが、昔から登録していただいている方たちもおられ年齢層は高い。

会長 新しく審議会の委員になられた方は「女性人材リスト」をご存じか。

委員 知らない。

事務局 年に1回広報おおむたに募集記事を掲載し、HPでも周知している。

委員 市内に活動されている女性団体が沢山ある。その方々が登録すれば増えるのではないか。

会長 女性人材リストの登録者は減っているものの、審議会等委員への女性の登用率は増加しているが、どうなのか。

事務局 女性人材リストの制度ができた頃は、審議会等における女性の登用率が県内でも低かったことから、女性人材リストを活用し女性の登用率を上げてきた。現在は、各団体等から女性の推薦も多くなり、女性人材リストをあまり活用する必要がなくなっていることから、制度の見直しの時期と考えている。次期プラン算定の際に、あわせて検討していきたい。

会長 では、次期プラン策定の際に検討していただきたい。

事務局 (資料2に沿って説明)

委員 市における職員の在職状況で、係長相当級の女性の割合が令和7年に比べ下がっているが、管理職における女性の比率が増えたことも要因かと思う。(2)の市職員数の状況を見ると女性の割合が少ないが、入庁時から女性の人数が少なければ管理職の人数も増えないのではないか。

事務局 職員数には消防の職員数も入っており、100名ほど男性がいる。他に土木など男性が多い職種もある。

委員 大牟田市ではどうか分からないが、他の自治体で50代は男性が多く、他の世代では男女差があまりないと聞いたことがある。そういった要因もあるのではないか。

委員 応募や採用自体、女性が少ないのか。

事務局 人事課に確認する。

2 報告

男女共同参画に関する市民意識調査等の実施について

事務局 (資料3に沿って説明)

委員 調査対象に郵送し、郵送で回収するのは、郵送代がかかりすぎるのではないか。例えば、広報等にQRコードを添付してみてはどうか。

事務局 今回から、調査票に二次元コードとURLを掲載し、郵送だけでなくインターネットによる回答もできるようにしている。

委員 インターネットによる回答もできるようになったのは、いいことだと思う。